第1章 canとcould

- 5. いいかエリック、私のコンピューターに手を触れちゃいけない ぞ。
 - a. Listen Eric, you can't touch my computer.
 - b. Listen Eric, you couldn't touch my computer.
- 6. その扉は自動的に開く。
 - a. That door can open automatically.
 - b. That door is able to open automatically.
- 7. ちょっとペンをお借りしてもいいですか?
 - a. Can I use your pen, please?
 - b. Could I use your pen, please?
- 8. 若かった頃は逆立ちして歩けたが、今はもうだめだ。
 - a. I could walk on my hands when I was younger, but now I can't.
 - b. I was able to walk on my hands when I was younger, but now I can't.
- 9. (これから何をしようかと尋ねられて)映画なんていいんじゃな W?
 - a. We can go to the movies if you are interested.
 - b. We could go to the movies if you are interested.
- 10. ゾウは空を飛べないが、ダンボは飛べる。
 - a. Elephants can't fly, but Dumbo can.
 - b. Elephants couldn't fly, but Dumbo can.



第**2**章 mayとmight

法助動詞の may も中学で必ず出てきます。意味は大 ざっぱに言って2つあります。1つは「~してもよい」 という意味で、相手に対して許可を与えたり(断った り)、自分が許可を願い出たりするときに使います。も う1つは「~するかもしれない」という意味で、起こり 得る状況・事態を表します。

上の2つの意味は、第1章の can の意味と重なるとこ ろが多いのですが、どこの部分が重なり、どこの部分 で意味が違ってくるのかを、この章で明確にしましょ う。

第2章 may / might 2-1 許可を表す may / might

2-1 許可を表す may / might

1 改まって、相手に許可を与えるときに用いる you may

さっそく問題をやって、あなたの may と might に対する理解度 をチェックしてみましょう。

【問題1】 次の2つのカッコ内に may か might を入れなさい。 ただし両方入れられるときには2つとも選びなさい。

- 1. "May I use this desk for a little while?"
 - "Yes, of course you (may/might)."

「少しの間、この机をお借りしてもよろしいでしょうか」

「もちろんいいですよ」

- 2. "Might I ask you out for dinner next week?"
 - "Oh my, are all Japanese so formal? Yes, you (may/might), of course."

「来週ディナーにお誘い申し上げてもよろしいでしょうか」

「おやおや、日本人って皆、そんなにかしこまった言い方をするんですか? はい、もちろんいいですとも」

自分が何かをしたいとき、そしてその行為が相手の許諾を必要とするときには、 $May I \dots ?$ を用いて、許諾を求めることができます。ただ、同様の意味を表す $Can I \dots ?$ と $Could I \dots ?$ と比べると、 $May I \dots ?$ はかなり固い言い方で、使われる機会はかなり限られています。

May I ...?に対して、相手は、もし許諾するときには、Yes, you

may. と答えます。もし断りたいときには、No, you may not. と答えます。次のようには言いません。

- (\times) Yes, you might. (\times) No, you might not.
- (\times) Yes, you could. (\times) No, you could not.

したがって、答えは次のようになります。

- 1. "May I use this desk for a little while?"
 - "Yes, of course you may [can]."

「少しの間、この机をお借りしてもよろしいでしょうか」 「もちろんいいですよ」

- 2. "Might I ask you out for dinner next week?"
 - "Oh my, are all Japanese so formal?Yes, you may [can], of course."

「来週ディナーにお誘い申し上げてもよろしいでしょうか」 「おやおや、日本人って皆、そんなにかしこまった言い方するんで すか? はい、もちろんいいですとも」

どちらも may が正解でした。(can を使ってもかまいません) 特に2は、質問文が "Might I ... ?" になっていますが、答えには might は使わないので、注意が必要です。

2 改まって自分への許可を相手に求めるときに用いる May I ...?

相手に許可を与えるとき、You can ... と同様に、改まった表現の You may ... の形も使えるということを上で見ました。

一方、自分が相手から許諾を得ようと願い出るときには、Can I ... ? や Could I ... ? と同様に、May I ... ? が使えます。(ただし May I にはかなり改まった響きがあると先ほど述べました)

第2章 mayとmight 2-1 許可を表す may / might

3 Might I ... ? はきわめて改まったバカ丁寧で古い表現

問題文の2では、Might I ask ... ? と言っていますが、この "Might I ... ?" の形は、May I ... ? よりもさらに改まりすぎて (丁重・バカ丁寧過ぎて) 現代では公式の場以外で使われることは稀です。上の例でもその度を越えたバカ丁寧さが相手の人から指摘されています。コナン・ドイル (Sir Arthur Ignatius Conan Doyle) 作の『シャーロック・ホームズ』(Sherlock Holmes) では、ホームズがワトソン博士に、

• "Might I trouble you, my dear Watson, to draw a little nearer to the window?"

「親愛なるワトソン君、窓際に、もう少し寄ってみてくれたまえ」
[The Adventure of the Empty House (邦名:『空家の怪』)]

と言ったりしていますが、これはヴィクトリア朝のイギリスですから、150年近く昔の、いわば明治時代英語です。

4 許諾を与えないとき・禁止するとき

「**~してはいけません**」と相手の行為を禁止したり、不許可にしたりするときには、どう言ったらいいでしょうか。

例えば、現在は航空機内に手荷物を2個以上持ち込むことは原則 として禁止されていますね。それをどう表現したらいいでしょうか。

 Passengers may not take more than one small bag on board the plane.

「乗客は2個以上の小さな手荷物を機内に持ち込んではならない」

日本語では「2個以上」ですが、英語では more than one 「1個を越えて」と言います。 more than two ではありません。そう言って

しまうと「2個を越えて」ですから「3個以上」になってしまいます。 不許可・禁止を表すには (公式の書き言葉では) may not を使います (cannot / can't も使えます) さらに強調したいときには must not [mustn't] にします。

 Passengers must not take more than one small bag on board the plane.

しかし実は、上の意味を表すには、否定文にせずに次のような肯定文で表現する方が、より自然な言い方です。

Passengers may take one small bag on board the plane.
 「乗客は、小さな手荷物を1個、機内に持ち込んでもよい」

5 過去の時点での許可や許諾の言い方

「**~が許されていた・~が認められていた**」(過去の時点での許可や許諾)は、どう言ったらいいのでしょう? また問題から始めましょう。

【問題2】 次のカッコ内に以下の法助動詞のうち適当なものをを 入れて文を完成させなさい。ただし、2つ以上正解があるかもし れません。

「100年前、米国の黒人は投票することが許されていなかった」 A century ago, black people in the U.S. () vote.

- 1. may not
- 2. might not (= mightn't)
- 3. cannot (= can't)
- 4. could not (= couldn't)